

令和2年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

**事業名： 未来につなぐカエデの森づくり**
**団体名： 大滝山林振興協議会**


### 事業の目的・内容

秩父の森も、国立公園内など原生林の姿を残しつつも、半分近くはスギやヒノキを中心とする人工林単一な植生に作り替えられています。用材に適した樹齢に育ってきたそれらを間伐した後に、広葉樹の苗を植え、これまで育ててきたスギやヒノキの人工林も大切にしながら、少しずつ生物多様性をそなえた本来の豊かな混交林を取り戻す活動を、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながって一体となった取り組みです。



### 今までの活動状況

11月8日、気持ちの良い秋晴れの日、住宅メーカーの伊佐ホームズのスタッフ及びお客様とお子様、大滝山林振興協議会スタッフ、NPO 秩父百年の森スタッフでイタヤカエデ等の広葉樹の植樹をおこないました。また午後は、ヨロズ国産木材の高橋さんの指導の下、丸太の製材体験を行いました。山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながっている重要な取り組みです。都会の木材利用者が秩父の山のことを考えてもらえるきっかけになってもらえることは、カエデの植林の大きな目的でもあります。お客様の中にはリピーターの方もいらっしゃり、カエデの森づくりへの理解が広がっている事を実感しました。





## これからの活動・行事

未来につなぐカエデの森づくりは、木材生産者と利用者が繋がる毎年恒例のイベントとなりました。今後もこの取り組みを続けていきたいと思えます。